

防除対策

ウイルス媒介虫であるタバココナジラミの防除

— タバココナジラミの生態 —

- ◎ 卵期間：20℃で約12日間、25～30℃で約6日間
- ◎ 幼虫・蛹の期間：20℃で約4週間、25℃で約17日、30℃で約12日間
- ◎ 成虫の生存日数：25℃で約3週間、この間に約200個近く産卵する
- ◎ 絶食耐性：20℃→6日間 25℃→4日 30℃以上→2日
- ◎ 飛翔能力はオンシツコナジラミより高く、風に乗れば数十キロ
- ◎ 紫外線カットフィルムにより行動が抑制される
- ◎ 光反射シートにより行動が抑制される
- ◎ 黄色に誘引される（黄色ホリバーの使用）
- ◎ 年間発生消長は5月頃から見られ、7～9月に多くなる



タバココナジラミ成虫

〈ハウス外へ出さない対策〉

- 栽培終了時に作物の地際部を切断したあと、施設を密閉
タバココナジラミの成虫は 45℃以上で1時間以内、幼虫は7時間以内に死亡することから、栽培終了後にはハウスを直ちに密閉し、5～7日間を目安に蒸し込み処理を行い、ハウス内のタバココナジラミを完全に死滅させる。

〈ハウス内へ入れない対策〉

- ほ場周辺の雑草除去
- 0.4mm 目合い以下のネットが望ましい
- ハウス入り口の3重被覆
- ハウス開口部への黄色粘着板設置
- ハウス外縁部への反射シート敷設
- ほ場内へは観賞用の花きなど栽培作物以外の植物を持ち込まない

〈ハウス内で増やさない対策〉

- 薬剤防除 …… 粒剤処理が有効（定植前処理など）、少発生時からの薬剤散布
- 病株の早期抜き取り ……（ビニル袋などに入れ完全に枯死するまで密閉）

